

電子入札案件工事（委託業務）内容補足説明書

件 名 南部幹線污水管路施設改築工事（その 30）

区 分	契 約 担 当
担当部署	鹿児島市水道局 管財契約課 契約係
連 絡 先	0 9 9 - 2 1 3 - 8 5 1 1
担当者名	梶井

[補足説明事項]

入札、指名通知書等について不明な点があれば、上記の契約担当に電話等で照会してください。
設計内容等の質問につきましては、公告文に記載のある期日までに上記、契約担当にて書面により受け付けます。

次の項目については、該当する場合は ☒ 印で表示してありますので、確認してください。

☒ この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事であるため、契約に当たり分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地、再資源化等に要する費用を契約書に記載する必要があることから、設計図書等に記載された処理方法及び処分場所等を参考に積算した上で入札すること。また、分別解体等の方法を契約書に記載するために、落札者は落札決定後に発注者と協議を行うこと。

☐ この工事等の履行に当たっては、個人情報保護に関する法律に規定する個人情報を取り扱うこととなるので、契約締結に当たっては取扱責任者を定め、契約の履行においては法を遵守すること。

[その他]

1. 工事開始日以降 30 日以内に工事着工すること。
2. 建設副産物については、再生資源の活用を行うものとする。
3. 契約後の「建設リサイクル法関係書類」記載事項と施工計画書の内容は同じであること。
なお、「建設リサイクル法関係書類」に記載されている内容と異なる施工となる場合、契約変更を伴うことから、記載に当たっては、十分留意すること。
4. 既設管内調査では、管内の劣化状況など、入念に調査すること。
5. マンホール内及び管きょ内で作業を行う場合は、必ず継続して機械換気を行い、常に酸素及び硫化水素等の濃度を測定するとともに酸素欠乏症防止規則を遵守すること。
6. マンホール内及び管きょ内で作業を行う場合は、安全帯の着用等によって転落防止対策・流出防止対策等を徹底すること。
7. マンホール内及び管きょ内で作業を行う場合は、流下汚水量の確認を徹底すること。
8. 本工事は、夜間作業であるため、作業時間帯については警察と協議すること。
9. 本工事は、週単位の週休 2 日工事の対象であり、週単位の 4 週 8 休以上の休日を確保した場合の補正係数を乗じて予定価格を作成している。詳細は、特記仕様書を確認すること。

[積算に伴う資料]

1. 令和 7 年度公共事業設計単価表（鹿児島県土木部）
2. 建設物価・積算資料（2025. 9 月号）
3. 令和 6 年度下水道用設計標準歩掛表（日本下水道協会）
令和 7 年度下水道用設計標準歩掛表（日本下水道協会）（市場単価方式の週休二日補正係数のみ）
4. 令和 6 年度土木工事標準積算基準書（鹿児島県土木部）

- 5. 令和 6 年度建設機械等損料算定表（鹿児島県土木部）
- 6. 建設物価 推進工事用機械器具等基礎価格表 2024 年度版
- 7. 積算資料 推進工事用機械器具等基礎価格表 2024 年度版
- 8. 下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020 年版（日本下水道協会）

※公共事業設計単価表に掲載されている単価等は、同図書が適用している刊行物の発刊号を参照すること。
なお、公共事業設計単価表に掲載されていない単価等は、上記の発刊号を参照すること。

※下水道事業の市場単価方式の週休二日補正係数については、令和 7 年度下水道用設計標準歩掛表に準拠すること。

（管更生工法 積算留意事項）

※管更生工法等に用いる機械損料については、表-1 を参照し、償却費率を一律 0.9 として算定すること。

※基礎価格については上記 6. 7. の刊行物を参照すること。

表-1 機械損料算定に伴う資料一覧

名称	規格	適用図書
高圧洗浄車	4t 147kw	8. 下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020 P145（高圧洗浄車 147kw 4t）
給水車	4t 132kw	8. 下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020 P145

※償却費率は一律 0.9 とすること。